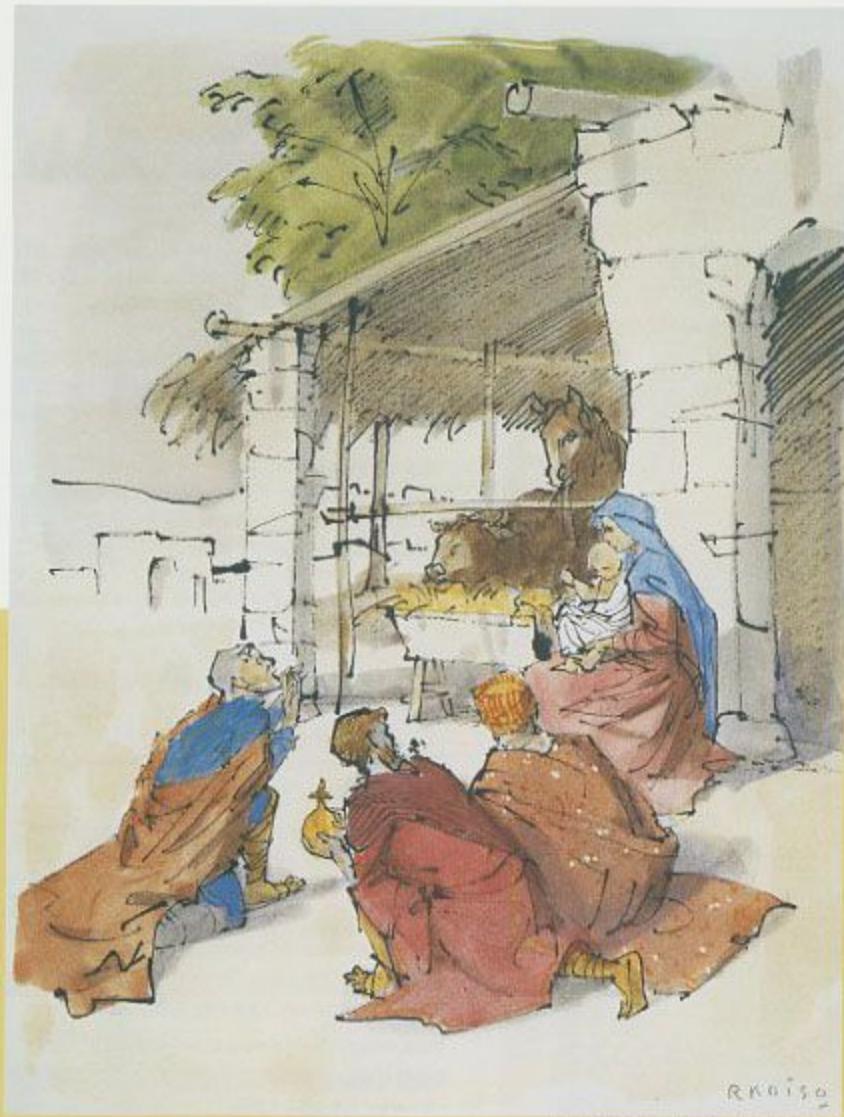


小磯良平

聖書のさしこえ展



RECOO

「五賢者の手書きと、イエスを讃む」(1970) 油絵

小磯良平作品選 I —油彩—

2008年4月11日(金)～5月25日(日)

神戸市立小磯記念美術館

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中5-7 TEL (078) 857-5880
http://www.city.kobe.jp/cityoffice/57/koiso_museum/

文 通 JR住吉駅、阪神魚崎駅のりかえ六甲ライナー「アイランド北口」駅下車 西へ徒歩すぐ

休 開 月曜日(ただし5月5日は開館)、5月7日(火)

開館時間 午前10時～午後5時(金曜日は午後6時まで) 入館は閉館の30分前まで

入 駐料 大人1,700円(550円)/高生1,500円(400円)/小中生1,300円(200円)

() 円は30名以上の場合、神戸市立小磯記念美術館(チケットカー)持参の方 350円 のびのび&スマート持参の方 無料

※5月11日(日)は神戸市立小磯記念美術館の持行人蔵料無料

主 催 神戸市立小磯記念美術館

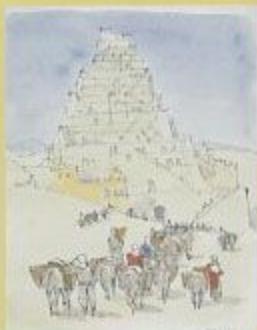
後 援 NHK神戸放送局

協 力 (財) 日動美術財團、(財)日本聖書協会

小磯良平のさしえ展



「ノアと洪水」1970 水彩画 個人蔵



「モーセの船」1970 水彩画 個人蔵



「アブラム山、イエスをさがす」1970 水彩画 個人蔵



「海を二つに分ける」1970 水彩画 個人蔵



「イエス、水夫を救ひける」1970 水彩画 個人蔵



神戸市立 小磯記念美術館

〒658-0032
神戸市東灘区向洋町中6-7
TEL (078) 857-5880

(※この会場にて販売事業を行っております)

小磯良平は日本聖書協会より『聖書』(1971年発行)のための挿絵を依頼されました。あらかじめ聖書の70ほどの場面が候補として挙げられていたが、最終的にどの場面を描くかについての判断は小磯に任せられました。

本展は、この時小磯が選んで描いた32の場面の水彩作品と、その下絵43点を紹介します。1つの場面について複数制作された下絵からは、構図を考え、工夫をこらす画家の姿が浮かびあがってきます。

小磯は30歳になる年に、養母のすめにより洗礼を受けました。しかしそれほど熱心ではなかったようであり、この挿絵を描くにあたって、あらためて聖書を読み直したといいます。

アトリエで、モデルや静物という、目の前のものを見て制作していた小磯が、この挿絵では、ノアの箱船やバベルの塔、天使など、実際に見たことのない形や姿を描いています。恐らく小磯は、ヨーロッパの宗教絵画を参考にしたでしょうし、彼の画風の中に、聖書の物語を子ども向けに書いた挿絵入りの書物や絵本が含まれていたことから、それらも参考にしたのではないかと考えられます。

展示室では、作品とともに、聖書の物語をパネルで紹介します。小磯がなぜこの場面を選んだのか、なぜこの瞬間を描いたのかなど、様々な思いをめぐらせながらお楽しみ下さい。

会期中のイベント

講演会

「小磯良平 聖書のさしえ—聖書の物語とヨーロッパの宗教絵画—」
4月27日(土) 午後2時～3時30分 2階絵画教室にて
講師：辻 智美(当館美芸科) 定員80名

解説会

毎週日曜日(4月27日を除く) 午後2時から(約30分)
2階絵画教室にて
芸術家が個別見学会の見どころや作品について解説します。

美術館大作戦!

「おはなしの世界を楽しもう」
5月17日(土)・24日(土) 午前10時～12時
対象：小学1年生～中学生(大人同伴可) 各日とも定員20名
※壮衛はがきによる申し込みが必要です。

小磯良平アトリエ解説

開館日の午前11時と午後2時から(約20分間)
インフォメーションスタッフによる案内
※イベント開催日は時間変更します。

ロビーコンサート

5月10日(土) 午後2時から 神戸市室内合奏団による演奏

近隣の美術館のご案内

神戸ファッション美術館 TEL 078-858-0050
「ボブ・ディラン フォルムチュイニズム—コレクションをめぐる旅展—」
4月17日(木)から5月11日(火)まで
休館日：毎週水曜日 開館休館日：4月14日(水)、15日(木)
※小磯記念美術館の手帳提示により团体割引料金で入館できます

神戸ゆかりの美術館 (神戸ファッション美術館1F) TEL 078-858-1520
特集展示「没後10年 水辺の風景に魅せられた洋画家 川端龍次 展」
4月9日(土)から5月27日(日)まで
休館日：毎週水曜日 開館休館日：7月3日(日)、4日(月)
※小磯記念美術館の手帳提示により团体割引料金で入館できます

